

(第3種郵便物認可)

子どもたちに自身の経験を語る吉田慎之介投手(左)と、木山裕貴捕手—
すずかけ台小学校



独立リーグ ブルーサンダーズ

「将来に向け全力で」

木山捕手と吉田投手 夢を語る

三田市を拠点とする野球の独立リーグチーム「兵庫ブルーサンダーズ」(ブルサン)の木山裕貴捕手(24)と、吉田慎之介投手(24)が11日、すずかけ台小学校(すずかけ台2)で4年生83人を前に講演した。日本野球機構(NPB)を目指して練習に励む日々を熱弁し、「今は嫌だと思つことも全て将来につながる。無駄と思わず、何でも全力で取り組んで」と呼び掛けた。(山脇未菜美)

すずかけ台小

ブルサンの選手は練習や試合の傍ら、地域イベントに参加。登校時間帯に校門に立つ「あいさつ運動」で同校と交流があり、「夢」をテーマに講演が企画された。

講演で2人は「夢を実現するためには、どうすればできるようになるかを考えるのが大切」と強調。ランニング一つでも鍛えられる筋肉を考えると練習内容が変わると紹介し、木山捕手は「勉強も何でも一緒。『いっなりしたい!』と目標を持ってやってほしい」と語った。

続く質問コーナーでは、夢はプロ野球選手という山田瑛太君(10)が、速い球の投げ方を聞いた。吉田投手は「動画で憧れの選手と自分を比較して、動き方をまねしてみ」とアドバイスした。